

# 知っておきたい！黒埼町 2001年からは 新潟市

## 北部

本市の中心部に近く、高速道路のインターチェンジを有する北部地区は、利便性が高いこともあって、急速に市街化が進行しています。その一角「新潟ふるさと村」とその周辺は商業・観光地としての魅力にあふれています。

1 波切御名号（親鸞聖人の伝説）  
【寺地940 4 266 8084鈴木さん宅】



嵐の中、親鸞聖人が信濃川を渡るとき「南無阿弥陀仏」の御名号を船の軸先に付けると烈風難く波を切り分けて渡ったと言い伝えられています。

2 新潟ふるさと村  
【山田2307-1 230 3000】



町最大の観光名所。特産品、名産品を販売しており、毎日たくさんの観光客でにぎわっています。

3 焼 鮒（親鸞聖人の伝説）  
【山田 377 2615田代さん宅】  
要予約



親鸞聖人が焼いた鮒を池に放ったところ、その鮒が泳ぎだし、その後、聖人が袈裟を掛けた樫が倒れ、その木を切ってみると切り口に聖人の姿と鮒が現れたといわれています。

4 河川敷公園

新潟ふるさと村の裏手に位置した公園は、町民の安らぎの場となっており、ときめき橋が望めます。



## 中部

東に信濃川と中ノロ川が流れ、西に北陸自動車道が通る中部地区。古くから商業・文化・住宅が集積し、町の中心として発展してきました。体育館や図書館などの公共施設も多くあるこの地区は、文化活動の拠点としても機能しています。

5 総合体育館  
【金巻746 377 5211】



館内には、バスケットボールが2面取れるアリーナや柔道場、剣道場、相撲場のほか1周170mのジョギングコースとトレーニング室があります。

7 特別養護老人ホーム「黒埼の里」  
【金巻728 377 1116】



ベット数50床の特別養護老人ホームとベット数20床のショートステイを備えているほか、1日当たり23人が利用できるデイサービスセンターを併設しています。

6 図書館  
【金巻746・4 377・5001】



約46,000冊の蔵書があり、子どもから大人まで、楽しめる本がいっぱい。静かな憩いの場所として、町民に親しまれています。

黒埼町にどのような名所や施設、文化遺産などがあるか皆さん知ってますか？  
黒埼町の耳より情報を、地図や写真を使って紹介します。

## 新潟市 黒埼町 合併の歴史

黒埼町は、明治34年11月1日に当時の金巻村、板井村、木場村、黒鳥村、鳥原村の5力村が合併し黒埼町が誕生しました。  
昭和48年2月1日に町制が施行され、現在の黒埼町となりました。

## 黒埼町域の 移り変わり

	現在の 新潟市	黒埼町	合併後の 新潟市
面積 ( $\text{km}^2$ )	205.94	25.97	231.91
人口 (人)	489,664	26,233	515,897
世帯数	188,530	8,298	196,828

※合併後の数値は黒埼町と単純に加えたもの。人口・世帯数は、新潟市、黒埼町とも平成12年8月末現在の住民基本台帳による

9 黒埼荘  
【緒立流通2-4-1 377 5049】



江戸時代から「霊泉」といわれた、緒立温泉の源泉をひいており、万病に効くといわれています。デイサービスセンター黒埼荘（377 1200）が併設しており、1日当たり23人まで利用できます。

## 南部

新潟平野の広大な農地が広がる南部地区は、都市近郊型農業がとても盛んです。またこの地区には、流通関連企業の進出が著しい流通センターや、貴重な温泉資源である「緒立温泉」などもあり、農業との調和を図りながらまちづくりが行われています。

10 常民文化史料館  
【緒立流通2-1-2 377 4146】



江戸時代の民家・武田家をそのまま利用した資料館で、当時の生活を知ることができます。また、緒立遺跡の出土品なども展示しています。

11 宮のもり木場城公園  
【木場地内】



戦国時代に上杉景勝が建造したという木場城をコミュニティ施設として再現してあります。地域の歴史を遊びながら学ぶことができる公園です。

※各施設の利用時間、施設使用料や合併後に黒埼支所で行う事務などについては、後日、本紙で掲載する予定です

